

UltraLight-Scenario

○○○○○

最後の一杯

たった一杯の思い出のラーメンを巡り、探偵とヤクザが街を駆ける。
正統派な、人情あふれるストリートの物語だ。

(掲載日：2016.7.30)

プレアクト情報

○○○

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

SONE (twitter : @sone_99)

▼プレイヤー人数

2～3人

▼想定プレイ時間

2時間程度

▼シナリオタグ

ストリート、ヤクザ、ラーメン

●UL シナリオ

本シナリオは「UL (超軽量) シナリオ」だ。ULシナリオについての詳細は以下のサイトを参照のこと。

http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

0～30点

▼使用サプリメント

『TNX』基本ルールブックのみでプレイできる。
クルードを使用する場合、『CHM』が必要となる。

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

余命いくばくもないヤクザの親分。

最後の願いは、思い出のラーメンをもう一度味わうこと。

アサクサの場末のラーメン屋の、何の変哲もない中華そば。

だが店はとうに閉店し、手がかりもない。

誰も過去を顧みないこの街で、消えた味を追う探索が始まる。

死にゆく者への祈りのため。

ただ一杯の麺のため。

探偵とヤクザがストリートを駆ける。

トーキョーNOVA THE ACCELERATION

『最後の一杯』

それは、ごくありふれた運命の一杯。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●プレイヤー人数

プレイヤー人数が2人の場合、『③ミストレス』を省いて遊ぶこと。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャラクターを使用することを推奨する。（*1）

『①フェイト』：不屈の探偵（『TNX』p82）

『②レッガー』：任侠剣士（『TNX』p96）

『③ミストレス』：ニューロキッズ（『TNX』p98）

●必要な神業

《真実》《不可触》が必要となるシチュエーションがある。また、敵ゲストの神業によってキャストが即死するのを防ぐために、1個以上の防御系神業が必要だ。

●NOVAクルード

基本ルールに準じたルール処理と、NOVAクルード（『CHM』P16）に準じたルール処理が併記されているので、状況に応じてどちらかのルールを選び、その指示に従うこと。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①フェイト』→『③ミストレス』→『②レッガー』→『①フェイト』

（*1）クイックスタート

プレイヤー2人で、ともにサンプルキャラクターを使う場合、得意スートが似通っているため、手札が回りやすい。定期的に捨て札を山札に戻すようにするとよい。

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

『①フェイト』：ストリートの探偵

『②レッガー』：河渡連合のヤクザ

『③ミストレス』：『①フェイト』の相棒

①推奨スタイル：フェイト

SCENARIO HANDOUT

コネ：鰐淵兵吾

推奨スート：外界

キミはストリートの探偵だ。今回の依頼人は、河渡連合鰐淵組の若頭。内容は、余命幾ばくもない親分・鰐淵兵吾の願い——思い出の店のラーメンを、死ぬ前にもう一度食べたい——を叶えること。とうの昔に閉店した、場末のラーメン屋の中華そばを。やれやれ、厄介そうな仕事だ。

【PS：鰐淵の願いを叶える】

②推奨スタイル：レッガー

SCENARIO HANDOUT

コネ：“真夜中の太陽” 河渡白夜

推奨スート：生命

キミは河渡連合のヤクザだ。河渡白夜の話では、鰐淵組に連合離脱の動きがあるという。鰐淵組は連合の重鎮、もし離脱すれば影響は計り知れない。キミの今回の仕事は、鰐淵組を連合に繋ぎ止めることだ。白夜が言うには、どうも「ラーメンが鍵になる」そうだが……？

【PS：鰐淵組を連合に繋ぎ止める】

③推奨スタイル：ミストレス

SCENARIO HANDOUT

コネ：『①フェイト』

推奨スート：任意

キミはストリートの探偵『①フェイト』の相棒だ。ろくでもない仕事ばかり引き受ける相棒のために、いつも苦労させられている。今度の依頼は、ヤクザの親分の思い出のラーメンを探すこと——ああ、本当にろくでもない仕事だ。だが結局、毎度のことだが、キミは手伝ってしまうのだ。

【PS：『①フェイト』を手伝う】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

余命いくばくもない河渡連合鰐淵組組長・鰐淵兵吾。彼の最後の願いは、若き日に食べたアサクサのラーメン屋“新星軒”のラーメンをもう一度味わうこと。これに鰐淵組の跡目争いが絡んでくる。若頭の蛭名と、ナンバー3の溝貝。組長の最後の願いを叶えた方が、次の跡目ということになった(*2)

新星軒はすでに閉店し、関係者も散逸していた。蛭名は『①フェイト』に新星軒のラーメンの再現を依頼する。河渡白夜から派遣された『②レッガー』がこれに協力する。

だが、問題は山積みだ。新星軒の味を知る最後の一人は乗り気でなく、さらに当時使っていた材料の幾つかは手に入らない。また、溝貝も妨害をしかけてくる。

このシナリオは、新星軒のラーメンを完成させ、鰐淵の願いを叶えることで終了となる。

■クライマックスの条件

新星軒のラーメンを完成させることで、クライマックスへ移行する。

(*2) 跡目争い

跡目争いがこんなことになった具体的な経緯は、設定していない。このアクトにおいて、特に重要ではないからだ。プレイヤーに質問されたら「なんか流れて」と説明せよ。大丈夫、経緯なんかなくてもアクトは成立する。そのように作った。信じる。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：若頭の依頼

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：不可（※『③ミストレス』は自動登場）

◆解説

『①フェイト』と『③ミストレス』共通のオープニング。鰐淵組の若頭・蛭名から依頼を受ける。依頼を受けたら、前金としてそれぞれ3シルバー（3報酬点）が与えられる。

◆描写

『①フェイト』の事務所にやってきたヤクザは、蛭名と名乗った。

▼セリフ：蛭名

「河渡連合鰐淵組、若頭の蛭名と申す」

「うちのオヤジ、組長の鰐淵兵吾ですが、病気でもう永くありません。最後に心残りを聞いたら、若いころ食べたラーメン屋のラーメンを、もう一度食べたいなんて言いましたね」

「極道もんとはいえ、末練を残して逝くのは後生じやありませんか。叶えてやりてえと思ったんですが、ちょっと調べたらその店、とっくの昔に潰れちゃってたんですわ」

「そこで『①フェイト』さんの出番だ。あんたには、その店のラーメンを用意してもらええ」

「別に、あんたに作れって言ってるわけじゃねえ。店は潰れても、関係者がまだどこかにはいるはずだ。探して、オヤジのためにラーメンを作ってもらえるよう、説得していただきてえんですわ」

「オヤジの最後の願いだ、ひとつよろしくお願えしやす」

「詳しいことはオヤジから聞いてくだせえ」

◆結末

『①フェイト』が依頼を受けたらシーンを終了する。

●オープニング2：跡目争い

シーンプレイヤー：『②レッガー』

登場：不可

◆解説

『②レッガー』のオープニング。河渡白夜から、鰐淵組の跡目争いに介入しよう命じられる。必要経費としてとして3シルバー（3報酬点）が与えられる。

◆描写

『②レッガー』は河渡白夜に呼び出された。

▼セリフ：河渡白夜

「来たな『②レッガー』、お前に仕事を頼みたい」

「鰐淵組に、連合から離脱しようって動きがある」

「あそこは連合では古参の組だ。離脱となれば、影響は計り知れない。他の組も続くかもしれない」

「鰐淵の組長は死に体で、いつくたばってもおかしくない。ナンバー2の若頭と、ナンバー3の間で、跡目争いが起きている。連合に残るか離脱するかは、次の跡目次第ってところだ」

「お前の仕事は、この跡目争いに介入し、鰐淵組を連合に繋ぎ止めることだ」

「跡目争いの鍵は、ラーメンだそうだ」

（どういう意味？）「俺が知るか！ とにかくラーメンだ。行ってこい！」

◆結末

『②レッガー』が依頼を受けたらシーンを終了する。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：寝たきり任侠

条件：リサーチフェイズ最初のシーン

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：不可（※『③ミストレス』自動登場）

◆解説

『①フェイト』が鰐淵から、探すべきラーメン屋の概要を聞く。その後、鰐淵組のナンバー3・溝貝が現れる。溝貝は《買収》で超高級ラーメンを用意するが、鰐淵の怒りを買う。

◆描写1

『①フェイト』は蛭名に連れられ、鰐淵組組長・鰐淵兵吾と会っていた。鰐淵はベッドに寝たきりの老人だが、その眼光は鋭い。

▼セリフ：鰐淵兵吾

「あんたが『①フェイト』って探偵さんか。話は蛭名から聞いたよ」

「固形物なんか食うなって医者に言われちゃいるがよ。どうせなら最後に、食いたいもん食って死にたいじゃねえか」

「ワシがまだ、下っ端のチンピラだった頃の話よ。命がけの出入りを前に、どうにも無性に腹が減ってな。ワシはたまたま近くにあったラーメン屋ののれんをくぐった。店の名前は、新星軒」

「その店の、1カップの格安ラーメンが、べらぼうにうまくてよ。今こうして死を前にして、ふとあの味を、もう一度味わいたくなったわけよ」

「新星軒のラーメンは、古典的な中華そばだ。醤油味の鶏ガラスープ。具はチャーシューとメンマ。麺も普通だった。材料も調理法も、特別変わったところはない。どこにでもある、安物のラーメンだった」

「簡単そうに聞こえるだろう？ ワシもそう思っていたのよ。だが他の店で出前を取っても、子分に同じ材料で作らせても、あの味にならんのだ……」

◆描写2

話がひと段落すると、神経質そうなヤクザが岡持ちを持って現れた。

▼セリフ：蛭名

「溝貝、ためえ！ こっちの用事が先だぞ！」

▼セリフ：溝貝（1）

「蛭名のアニキ、生憎とこっちも急ぎでしてね。せっかく用意したラーメンが伸びちまう」

「オヤジは要するに、うまいラーメンを食いたいんでしょ？ スキヤキの材料を使い、最高のシェフに作らせた、超高級ラーメンですぜ！（《買収》を使用する）」
「そんな探偵に頼んでまで、潰れた場末のラーメン屋にこだわる必要もないでしょう。こっちの方が絶対うまいですぜ！（岡持ちからラーメンを差し出す）」

▼セリフ：鰐淵兵吾（1）

「いいってことよ、蛭名。溝貝がせっかく用意したもんだ。いただぜ（ラーメンを一口食べる）」

「……全ッ然、違ァァアう！ こんなブタのエサ食わせやがって、ブツ殺されてェか溝貝ィィ！（ドンブリを放り投げ、ベッドから飛び起きてドスを振り回し、病室を破壊する）」

▼セリフ：溝貝（2）

「ひ、ひえー！（逃げる）」

▼セリフ：鰐淵兵吾（2）

「ううっ、血圧が……（倒れる）」

「お見苦しいところをお見せしました。『①フェイト』さん、どうか頼みます」

◆結末

鰐淵組長は、興奮しすぎて倒れる。これ以上、彼から詳しい情報を聞くことはできない。描写を終えたらシーンを終了する。

No Image

えびな・きよはる
蛭名清春

レッガー◎（エキストラ）

▼設定

「オヤジが死んだら、俺がしっかり組を率いていかなえとな」

河渡連合鰐淵組の若頭、組のナンバー2。若い頃、鰐淵の組長に命を救われた恩があり、心酔している。跡目争い関係なく、親分のために新星軒のラーメンを食べさせたいと思っている。好きな食べ物はエビチリ。

▼神業

使用しない

No Image

わにぶち・ひょうご
鰐淵兵吾

フェイト、カクナ●、レッガー◎（エキストラ）

▼設定

「極道が長生きしてどうする。食いたいもん食って、さっさとくたばるさ」

河渡連合鰐淵組の組長。大食漢で美食家。若い頃からの暴飲暴食がたたって病気となり、余命いくばくもない。現在はベッドで寝たきりの身。ヤクザとしては温厚な部類だが、一度激昂すると手が付けられない。好きな食べ物はもちろん、ラーメン。

▼神業

基本的に使用しない。ただし、キャストが《不可触》などで偽物の“新星軒のラーメン”を用意した場合、《真実》で見抜き、怒りの《死の舞踏》をぶちかます。

●イベント2：ヤクザ嫌いの料理人

条件：[アドレス：マオの店] を訪れた

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：〈社会：ストリート〉10 / SR：イエロー

◆解説

マオの店を訪れ、交渉するシーン。マオは両親の死の経緯から、協力を断る。《真実》(※3)を使用すれば、彼女からレシピだけは聞き出すことができる。その旨を『①フェイト』のプレイヤーに説明すること。このシーンの終了後、【麺】と【調味料】の情報項目を調べられるようになる。

◆描写1

アサクサの小さな中華料理店。店の料理人マオは、新星軒の味を知る唯一の人間だ。話を聞いた彼女は、渋い顔をする。

▼セリフ：マオ

「話は分かったよ。確かに、私は新星軒の味を知ってる。でもダメ、協力はできない」

「私の両親の死因は、交通事故だった。父と母の乗ったロボタクに、暴走トラックが突っ込んだのさ。でも、その原因が問題。ヤクザの抗争の流れ弾で、トラックのタイヤがパンクして、制御不能になったんだ。記録には残っていないけどね」

「だから私は、ヤクザが嫌いだ。ヤクザのために料理を作るなんて、まっぴらだね」

「それに新星軒のラーメンなんて、大したもんじゃないよ。材料は全部市販品だし、作るのに特別な技術もいらぬ。レシピさえあれば、あんたでも作れるよ」「教えないよ。ヤクザに協力はしない」

◆描写2（《真実》を使用した）

マオは『①フェイト』の説得に、ついに根負けした。

▼セリフ：マオ

「わかった、わかったよ。あんたの勝ち。レシピだけは教えてあげるから、好きに作れぬい」

「一応言っておくよ。確かに新星軒のラーメンは、レシピがあれば誰でも作れる。でも今、あの味を完全に再現することはできないからね」

「麺と調味料が、もう手に入らないんだ」

◆結末

レシピを手に入れ、店を出たらシーン終了となる。

●イベント3：警告

条件：[●ヤクザ嫌いの料理人] の次のシーン

シーンプレイヤー：『②レッガー』

登場：〈社会：ストリート〉10 / SR：イエロー

◆解説

溝貝から警告を受けるシーン。このシーンの舞台裏で、溝貝からの社会戦(※4)が行われる。

◆描写

『②レッガー』の端末に通信が入る。発信元は、河渡連合鰐淵組の溝貝だ。

▼セリフ：溝貝（ゴースト）

「『②レッガー』さんですね。鰐淵組若頭補佐筆頭の溝貝と申しやす」

「何やら、ウチの組を嗅ぎ回っているみたいで。それに『①フェイト』って探偵を手伝っているとか。そういうの、やめてもらえませんかねえ」

「どうやら河渡白夜さんの差し金なのですが、河渡と鰐淵は五分の盃(※5)、同じ連合の一員であっても、下部組織じゃありません。鰐淵の方針は鰐淵が決める、余計な手出しは無用に願います」

「へっ、どうなっても知りませぬぞ」

◆結末

会話を終えたら、シーンを終了する。

●イベント5A：アイスボックス

条件：[アドレス：アイスボックス] へ向かった

シーンプレイヤー：指定なし

登場：〈社会：企業〉10 / SR：グリーン

◆解説

巨大冷凍倉庫アイスボックスで、旧タイプの合成小麦粉を探すシーン。〈知覚〉判定を行なう(※6) 目標値は20。成功すると小麦粉を発見できる。失敗した場合、寒さで「山札1枚+（失敗した回数×3）」点の肉体ダメージを受ける。成功するか、行動不能になるまで、この処理を繰り返す。

◆描写

CFCの巨大冷凍倉庫アイスボックス。この広大な倉庫の未整理区画に、求める合成小麦粉が眠っている。凍死する前に、探して持ち帰らなければならない。

(※3) マオへの《真実》

マオからレシピを聞き出す《真実》は、アクト前半の山場となる。

実際のプレイでは、ある『①フェイト』は「ヤクザではなく新星軒の味を愛する客のために協力してくれ」と、心をこめて説得した。ある『①フェイト』は、マオの店に足しげく通い、何度断られても諦めずに頼み続けることで誠意を示した。どれもすばらしい《真実》だった。

(※4) 社会戦

溝貝はこのシーンに登場しているので、本来なら舞台裏判定である社会戦を行なえない。ただ、以降のシーンに先送りしても、やることは全く変わらない。ならいつやっても大差なかるうと、演出の都合上このシーンで行なうことにしている。

クルードの場合、社会戦のかわりに印象判定（レッガーのスタイル判定）を行なう。

(※5) 五分の盃

河渡連合の構成組織には、現体制成立後にいち早く恭順したことで、優遇措置を受けている古参の団体がある。これらの団体は規模こそ小さいが、最大勢力である河渡組と「序列上は」同格扱いとなっている。鰐淵組もそのひとつだ。あれこれ干渉される講はない、と溝貝は言っているのだ。

(※6) クルードの場合

【理性】の能力判定を行なう。「劇的な成功」以上で小麦粉を見つけれられる。発見するまで何回でも判定をしてよいが、3回「失敗」するとキャストは凍死する。

No Image

■マオ

タタラ●●（エキストラ）

▼設定

「うちにヤクザに食わせる飯はないよ！……え？ お腹が減った？ しょうがないな……」

新星軒の店主の娘で、新星軒のラーメンの味を知る最後の一人。両親を亡くして親戚に引き取られ、現在は一人前の料理人として成長した。亡き両親を尊敬しており、かつて新星軒の掲げた「どんな客でも飯を食べられる店」という哲学を実践するために、ストリートに自分の店を構えた。両親の死の経緯（ヤクザの抗争の巻き添えをくって死んだ）から、ヤクザを嫌っている。好きな食べ物はワンタンメン。

▼神業

《タイムリー》をイベントで使用する。

▼セリフ：CFC職員

「わざわざ味の劣る旧タイプを欲しがると、物好きな人もいたもんだ」

「データ上はこの未整理区画に保管されているけど、散らかってて正確な位置までは解らないな」

「悪いけど、自分で探してくれる？ こっちも忙しいんでね。見つけたら、好きなだけ持って行っていいからさ」

「遭難には気を付けてね。よく凍死者が出るんだ」

◆結末

合成小麦粉を見つけるか、行動不能になることで、このシーンは終了となる。

●イベント5B：SSS押収品保管所

条件：[アドレス：SSS押収品保管所] へ向かった

シーンプレイヤー：『②レッガー』

登場：〈社会：警察〉10 / SR：グリーン

◆解説

SSSの押収品保管所で、化学調味料を手に入れるシーン。《不可触》を使用することで、化学調味料を手に入れることができる。

◆描写1

SSSの押収品保管所。ここに求める化学調味料があるはずだ。だが保管庫の受付には長蛇の列ができていて。職員もやる気を感じられない。これは時間がかりそうだ。

▼セリフ：SSS隊員と保管所職員

「押収品の持ち出しを申請したいんですが」

「ではこちらの申請書に、持ち出し理由と期間を記入して、上司と本部長のサインをもらって来てください。申請が受理されるまで、だいたい2年ってところっすね。気長に待っててください」

「そんな、こっちは半日並ばされたんだぞ！ 捜査のために、今すぐ必要なんだ！」

「規則っすから。ハイ、じゃあ次の人」

▼セリフ：長谷部万力

「(強引に列に割り込む) ちょーっと割り込ませてもらうわね」

「ちょっと押収品が必要になったのよね。え、申請書に上司と本部長のサイン？ めんどくさいわねー、適当に書いて。あと紛失しちゃう予定なんだけど、これも書類が必要かしら？ 〈賄賂を握らせ、《不可触》(※7)を使用する)」

▼セリフ：保管所職員

「どーぞどーぞお持ちください！ あ、こっこのデータから消しておくん、返さなくていいっす」

◆描写2

長谷部万力は意気揚々と去っていく。なるほど、この保管所で望むものを手に入れる方法がわかったようだ。

▼セリフ：保管所職員

「ヘイロン製の化学調味料？ 確かにあるっすけど、アンタうちの人間じゃないっすよね？」

《《不可触》を使用した》「どーぞどーぞ！ 好きなだけ持ってってください」

◆結末

化学調味料を手に入れたら、シーンを終了する。

(*7) 長谷部万力の《不可触》

『②レッガー』が《不可触》の演出に困らないよう、例示として使用している。万力も、万力の《不可触》も、このシナリオには一切関係ない。

(*8) 完成！

もし「CTL」があるなら、SPSのルールを導入してもよい。SPSは「ラーメンを届ける(5点)」だ。

●イベント6：完成！(*8)

条件：合成小麦粉と調味料を手に入れた

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：キャスト全員登場

◆解説

新星軒のラーメンに必要な材料とレシピが揃ったところへ、心変わりしたマオが現れる。マオは《タイムリー》を使用し、新星軒のラーメンを完成させる。

◆描写1

新星軒のラーメンに必要な材料とレシピが揃った。そこに蛭名が現れる。彼は意外な人物を連れていた。

▼セリフ：蛭名

「いよいよ完成ですねえ！ ところでお客さんですぞ」

▼セリフ：マオ

「この間は協力できないって言ったけど、考え直したよ。新星軒のラーメンなら、やっぱり私が作るべきだ」「新星軒のラーメンは、食べたい人に食べてもらうためにあった。今、その組長さんがどうしても食べたいなら、作ってあげるのが新星軒の哲学だ。もう店はいいけど、娘の私がそれに反するわけにはいかない」(頼む)「ありがとう。それじゃあ、始めるよ《タイムリー》を使用」

◆描写2

マオの協力により、ついに新星軒のラーメンが完成した。

▼セリフ：蛭名

「なんか普通ですね」

▼セリフ：マオ

「これだ！ この特徴のない雑な味！ まさに新星軒のラーメンだよ！」

「今から持っていけば、ちょうどいい伸び具合になるはずだよ(岡持ちに入れて渡す)」

◆結末

岡持ちを持って組長のもとへ向かえば、クライマックスへ移行する。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報項目は以下のとおり。

『①フェイト』『③ミストレス』:【新星軒】【蛭名】【溝貝】
『②レッガー』:【跡目争い】

情報項目名の頭にある記号は、クルードにおいて、その情報を能力判定で調べる場合に使用するスートだ。能力判定に成功することで、すべての情報を得ることができる。

♣新星軒

〈社会：ストリート〉

- 10 アサクサの場末のラーメン屋。10年ほど前に閉店した。味より価格優先、1杯1カップの格安路線を貫いていた。
- 12 家族経営で、店員を雇ってはいなかった。味を知っている関係者は店主一家だけだ。
- 14 店主一家は、店主と妻と娘の3人家族。店主と妻は10年前、交通事故で死亡。新星軒は経営不可能になり閉店した。娘のマオはその後、料理人となりアサクサに店を構えている。[アドレス：マオの店] を得る。

♠跡目争い

〈社会：ストリート〉

- 10 鰐淵組の跡目候補は2人。ナンバー2の若頭【蛭名】と、ナンバー3の若頭補佐筆頭【溝貝】だ。蛭名が連合残留派、溝貝が連合離脱派だ。
- 14 色々と話がこじれた結果、組の内部では「組長に思い出のラーメンを食べさせた方が跡目になる」というムードになっている。蛭名はそのために探偵『①フェイト』に接触した。

♠麵

〈社会：企業、テクノロジー〉

- 10 新星軒の麵は、CFC製の最低ランクの合成小麦粉を使用していた。現在、技術革新により同じコストで味を向上させた新タイプの合成小麦粉が流通している。味の悪い旧タイプをわざわざ欲しがれる顧客もいないため、市場から完全に姿を消している。
- 15 CFCの巨大冷凍倉庫“アイスボックス”に、少数が保管されている。行けばタダで譲ってもらえる。[アドレス：アイスボックス] を得る。

◆調味料

〈社会：警察、メディア〉

- 10 新星軒で使用されていたのは、ヘイロン製の化学調味料だ。数年前に麻薬物質の混入が判明し、人体に有害として回収騒ぎになった。そのため市場から完全に姿を消している。現在、使用されている調味料とは、微妙に味が異なる。
- 15 少数の好事家の間で、ドラッグとしてヤミで取引されている。SSSの押収品保管所に少数が保管されている。行けば《不可触》で手に入れることができる。[アドレス：押収品保管所] を得る。

♣蛭名

〈社会：ストリート〉〈河渡連合関係者のコネ〉

- 12 鰐淵組ナンバー2の若頭。情に篤い古いタイプの任侠。現組長に命を救われたことがあり、その恩義から心酔している。跡目争い関係なく、親分のために最後の願いを叶えたいと考えている。

◆溝貝

〈社会：ストリート〉〈河渡連合関係者のコネ〉

- 10 鰐淵組ナンバー3。現組長や若頭と反りは合わないが、経営センスがあり支持を集めている。河渡連合から離脱し、独立勢力になろうと画策している。
- 13 スタイルはマネキン、エグゼク◎、レッガー●。
- 16 三合会と繋がりがあり、独立勢力となった際は後ろ盾となるよう根回ししている。その縁で、三合会から暗殺者・【周正影】を借り受けている。

♥周正影

〈社会：ストリート〉

- 16 三合会の凶手（暗殺者）にして厨師（料理人）殺人も食事も同じという“殺食同源”の理念を掲げ、暗殺術と料理の両道を極めようとしている。スタイルはタタラ◎、カタナ、カゲ●。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●クライマックス：出前一丁

◆解説

組長のもとへ向かうキャストたちを、溝貝と周正影(*9)が妨ぐ。カット進行となる。

溝貝と周のエンゲージ、およびカタナトループ(*10) 20人1グループが、キャストたちのエンゲージから近距離に位置している。

◆描写

鰐淵組長のもとへ急ぐキャストたち。その前に溝貝と、黒いコックコートの中華料理人が立ちはだかる。

▼セリフ：溝貝

「その岡持ちを置いていっちゃくれませんか。組長には、私がお届けに上がります。こちらの周正影さんが作った、ってことにしてね」

「他人の上前をハネる。それがヤクザのビジネスってもんでしょ」

「断るってんなら、周さんのもう一つの得意技をご披露頂くことになりますぜ」

(倒した)「俺の野望が、たかがラーメンで……」

▼セリフ：周正影

「我が包丁の冴え、その身でとくと味わうがいい」(倒した)「不覚……」

◆結末

溝貝と周を倒したら、エンディングへ移行する。

NOVAクルード用データ

溝貝 武史

「鰐淵組はあつがいただきますぜ」

鰐淵組の若頭補佐筆頭、組のナンバー3。新星帝都大卒のエリートヤクザ。組の経営面での功績において、ナンバー2の姓名よりも評価されている。鰐淵組を自分のものにして河渡連合から離脱、三合会をバックに独立勢力のトップになるという野望を持っている。好きな食べ物はギョーザ。

▼スタイル

マネキン、エグゼク◎、レッガー●

▼神業

☐ ブリーズ! ☒ 買収 ☐ 不可触

▼カット進行で行うスタイル判定

◆マネキン：精神攻撃

銃口を向けて恫喝する。

◆レッガー：射撃攻撃

拳銃をぶっ放す。

◆エグゼク：精神攻撃

部下を呼んで、数で精神的優位に立つ。

NOVAクルード用データ

“殺食同源”周 正影

「数えきれない食材・薬物を精密なバランスで配合し、特殊な味付けを施して煮込む事七日七晩! 血液や尿からは決して検出されず、なおかつすべての薬物の効果も数倍……。血管から注入する事でさらに数倍!! これが……長年にわたる研究の結果たどりついた……我が究極にして至高の料理! ドーピングフカヒレスープだ……」

三合会の凶手(暗殺者)にして廚師(料理人) 殺すも食べるも同じという“殺食同源”の理念を掲げ、暗殺と料理の両道を極めようとしている。好きな食べ物はフカヒレ。

▼スタイル

タタラ◎、カタナ、カゲ●

▼神業

☐ タイムリー ☐ 死の舞踏 ☐ 不可知

▼カット進行で行うスタイル判定

◆タタラ：白兵攻撃

熟練の包丁さばきで敵を“料理”する。

♥カタナ：白兵攻撃

筋肉増強剤入りの料理で肉体を強化し、力任せに攻撃。

◆カゲ：射撃攻撃

有毒成分入りの調味料爆弾を投擲する。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

●最後の一杯

共通のエンディング。溝貝の妨害を突破し、鰐淵組長にラーメンを届けることができた。組長はラーメンを心ゆくまで味わう。

「これだ、この味だ。本当に、うまいな……」

老いた任侠は、穏やかな笑みを浮かべる。結局、これが最後の食事となった。

●葬式

『②レッガー』のエンディング。『②レッガー』は河渡白夜とともに、鰐淵組長の葬式に参列している。

「うまくやってくれたな。鰐淵組の新組長は、連合への残留を約束したぜ。お前のおかげだ」

「で、結局ラーメンってのは何だったんだ?」

●墓参り

『①フェイト』『③ミストレス』のエンディング。鰐淵兵吾の墓の前で、姓名と会う。

「今回は本当に助かりやした。オヤジも、本望だったでしょう」

「で、ひとつお礼がしてえ。これは依頼の報酬とは別に、個人的に」

「うまいもんでも食いにいきましょう。どの店にします? 驕りますぜ」

(マオの店にしよう)「ははっ、ヤクザに食わせてくれますかね。でも、お付き合いしますぜ」

これにてアクトは終了だ。

(*9) 溝貝と周正影

溝貝のねらいは、新星軒のラーメンを奪い、自分が用意した(周に作らせた)ものとして組長に食べさせることだ。よって、ラーメンを台無しにするような戦いは極力避ける。具体的にはこのカット進行によって、ラーメンがこぼれたりすることは無い、ということだ。

(*10) カタナトループ

データは「TNX」p288を参照。溝貝の子飼いの部下たちだ。プレイヤー人数が2人の場合、登場しない。

どろい・たけふみ

溝貝武史

マネキン、エグゼク◎、レッガー●

▼設定

「罇淵組はあっしがいただきますぜ」

罇淵組の若頭補佐筆頭、組のナンバー3。新星帝都大卒のエリートヤクザ。組の経営面での功績において、ナンバー2の姓名よりも評価されている。罇淵組を自分のものにして河渡連合から離脱、三合会をバックに独立勢力のトップになるという野望を持っている。好きな食べ物はお蕎麦。

▼神業

□ブリーズ! ■買収 □不可触

▼能力値／制御値

▲理性：5／12 ♣感情：7／12

♥生命：5／12 ♦外界：5／12

▼戦闘データ

【CS】 8 【AR】 1

【防御力】 S：2／P：2／I：2

▼一般技能

3♣♠♥♦ ★心理

2♣♠♥♦ ★圧力

2♣♠♥♦ 社会：企業

2♣♠♥♦ コネ：周正影

▼スタイル技能

2♣♠♥♦ コレクティブ (TNX202)

2♣♠♥♦ 十人使い (TNX195)

2♣♠♥♦ 威圧 (TNX212)

▼アウツフィット

・フォーマリティ電：15 / 隠：14 (TNX238)
上等な仕立ての防弾スーツ。

▼戦闘プラン

舞台裏で〈圧力〉〈社会：企業〉〈コレクティブ〉による社会攻撃を行なう。対象は3人。
メインプロセスでは〈コネ：周正影〉〈人使い〉によって周正影を再行動させる。周正影が行動できない場合、〈心理〉〈威圧〉による精神攻撃。ダメージ+4。
《ブリーズ!》は防御に使用する。《不可触》はキャストたちを倒した後、新星軒のラーメンを自分で用意したものと偽装するために使用する。

“殺食同源”周正影

チョウ・チェンイン

タタラ◎、カタナ、カゲ●

▼設定

「数えきれない食材・薬物を精密なバランスで配合し、特殊な味付けを施して煮込む事七日七晩! 血液や尿からは決して検出されず。なおかつすべての薬物の効果も数倍……血管から注入する事でさらに数倍!! これが……。長年にわたる研究の結果たどりついた……。我が究極にして至高の料理! ドーピングファカヒレスープだ……」

三合会の凶手(暗殺者)にして厨師(料理人) 殺すも食べるも同じという“殺食同源”の理念を掲げ、暗殺と料理の両道を極めようとしている。好きな食べ物はフカヒレ。

▼神業

□タイムリー □死の舞踏 □不可知

▼能力値／制御値

▲理性：8／13 ♣感情：1／12

♥生命：6／13 ♦外界：6／11

▼戦闘データ

【CS】 7 【AR】 1

【防御力】 S：2／P：2／I：2

▼一般技能

2♣♠♥♦ 製作：ドラッグ

3♣♠♥♦ ★白兵

▼スタイル技能

2♣♠♥♦ 居合い (TNX204)

3♣♠♥♦ 十加速装置 (TNX187)

2♣♠♥♦ 十死点撃ち (TNX209)

2♣♠♥♦ 無風剣 (TNX204)

▼アウツフィット

・シャドウソード電：15 / 隠：14 (TNX234)
攻：S+7 受：1 射：至近 前腕に仕込むサイバー中華包丁。
・VEN3電：- / 隠：15 (TNX237)
「BS：邪毒(3)」を与える毒。
・フォーマリティ電：15 / 隠：14 (TNX238)
上等な仕立ての防弾防カックコート。
・DFS (ドーピングファカヒレスープ)電：- / 隠：15 (TNX255)
巨人血(TNX255)の相当品。中華暗殺料理の神髄を極めたスープ。経口摂取ではなく注射器で血管に直接注入し、肉体を極限まで強化する。メジャーで使用、そのシーンの間、受ける肉体ダメージ2点軽減。

▼戦闘プラン

カット進行開始時に《不可知》を使用。得たメジャーアクションで“DFS”を使用する。この際、設定欄のセリフを読み上げる。
セットアップに自分に《加速装置》を使用。【CS】+カードの数字。
メインプロセスでは《白兵》《無風剣》《死点撃ち》による攻撃。達成値+2、Xダメージに変更しダメージ+4。
さらに「BS：邪毒(3)」を与える。
《タイムリー》は防御に使用する。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

Neuro/CrowD

投稿シナリオ No.UL011 『最後の一杯』

発行日：2016.7.30

執筆（著作権者） SONE

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html